



酵素温浴 香和 河田 弘香さん

酵素風呂で 身体も心も環境も 元気に

酵素温浴香和の始まりは9年前。築75年の古民家を改装して誕生しました。昭和レトロを感じる門を通り抜けて趣のある暖簾を歩くくと、そこは日常の喧騒から離れた別世界。ヒノキの発酵した香りが鼻をくすぐり、どこからか風鈴の音が聞こえてきて癒しの時間が始まります。

岐阜に温浴施設をつくりたい

この店を営むのは、岐阜県出身の河田弘香さん、46歳。一度は地元を離れ三重県の砂風呂施設で数年勤務したのち、故郷の岐阜に戻って事務の仕事に転職しました。

しかし、毎日のデスクワークから肩こりや冷えといった身体の不調が目立つようになり、日に日に体調を崩していきました。「このままではいけない、何とか回復して楽しい日々を過ごしたい」そう考えるなかで、真つ先に頭に浮かんだのが、以前勤務していた砂風呂施設の「温浴」でした。

身体を温めることは、免疫力向上・疲れ目の緩和、良質な睡眠をもたらします。河田さんは、自ら体調不良となったことで、改めて温浴の効果を感じ、その素晴らしさを実感していきました。

その後、温浴の効果も加わり、徐々に心身ともに元気を取り戻していきました。同時に「自分と同じような辛さを感じている方々を少しでも緩和できれば」という思いが募っていきました。

「いつか生まれ育った岐阜で、温浴施設を作れたら…」そんな夢が膨らんでいきました。

酵素風呂との出会い

当時、岩盤浴がブームだったこともあり、岐阜市内にも多くの温浴施設がありました。河田さんは、その一つを訪れ、温浴について調べていくうちに「酵素温浴」と出会います。「酵素風呂は、砂風呂と比べると軽く、じんわりと優しく身体芯まで温めてくれるのが特徴です。また、岩盤浴のように固くないので腰への負担もありませんし、サウナのように高熱空間での息苦しさもありません。出た後もじわじわと汗が出続けることに感動しました」

以来、ますます酵素風呂に魅かれていった河田さんは、岐阜だけでなく、さまざまな地域にも出掛け、様々な酵素風呂を体験し、パウダーの中含まれている成分や特徴を調べるなど日々研究を重ねていきました。また、開業に向かって、資金調達のための情報収集や、創業支援セミナーに参加するなど努力を重ねていきました。

そして、平成26年1月、念願の「酵素温浴 香和」開業にいたしました。

香和オリジナルの酵素風呂

ヒノキパウダー（ヒノキのおがくず）

ていきました。それは河田さんがこだわってきた「完全予約制の心地よいプライベート空間づくり」への「信頼」の表れでした。河田さんは、常々お客様に酵素風呂の効果や、丁寧に説明してきました。身体を温めることで免疫力を高める効果もある酵素風呂は、コロナ禍の心の癒しともなり、徐々に客足は戻っていきました。河田さんのお客様への想いは、コロナ禍でもしっかりと伝わっていました。

酵素風呂の新たな可能性

酵素風呂では、毎日パウダーをふるいにかけて、発酵が終わる固まったものを取り除きます。河田さんは以前からそれを捨てるのはとてもつらいと思っていたいました。酵素風呂のパウダーはすべてが天然素材環境に優しくて、自然に返すことができ「酵素風呂以外で使うことはできないか」と、ずっと考えていました。

そんな中、ある時「ほかし肥料」として使うことを思いつきます。「お店に飾られている観葉植物は、私がブレンドしたパウダーで大きく立派に育っています。知り合いの田んぼにパウダーを蒔いてもらったところ、土が元気になる大粒の米が実り

や米ぬかなどの有機物を発酵させ、その発酵熱で体を温める乾式温浴のことを「酵素風呂（酵素浴）」と呼び、環境に優しい材料を使用しています。温度は60度〜65度と高温ですが、パウダーが空気を含み熱伝導率が低くなるため、体感温度は40度前後と快適な温度になります。香和では、研究を重ねた独自の割合で木曾檜のパウダーと米ぬかをオリジナルブレンドし丁寧についた自家製の発酵液を加え、微生物の力を借りて自然発酵させたものを、一人一人が入れる桶に入れ、提供しています。



一人一人丁寧に対応

この「二人桶」は、一台一台の温度管理が必要で、管理には手間や時間はもちろん、状態を見極めて成分を追加するための知識、かきまぜる際

ました。土が良ければ農薬を使わなくても虫を寄せ付けない元気のいい野菜ができます。酵素風呂で使ったパウダーは、微生物のおかげで肥料としても優秀なのです」

持続可能な社会を創っていく「SDGs」への関心が高まっている今、こうした環境への取り組みにも力を入れていきたいと河田さんは話します。「今は、自宅や知り合いに配っているこの天然の肥料を、今後はもっと広く使ってもらえるようにしていきたいです」

河田さんはこれからも、多くの方の元気をサポートしながら、地球環境にも貢献できるよう、幸せの環を広げていきます。

酵素温浴 香和

所在地 岐阜市月丘町3-8
TEL 070-1626-5673
URL https://kouso-onyoku-kawa.jimdofree.com/



20分で体の芯から温まります

の繊細な技術といった経験に裏打ちされたノウハウが求められます。河田さんは、閉店後に酵素風呂一台一台を1時間以上かけてかきまぜていきます。「この作業はとも体力を使うので大変です。また体力だけでなく根気のいる作業です。しかしその分、2〜3日後には必ずその結果が出てきます。努力に応じてくれるのです」また、日々の天気や気温によって発酵状態が変わるため、におい・表面の状態・湿度などにも細心の注意が必要です。「ませすぎて水分や成分を与えすぎると酵素風呂にとってよくありません。何事もバランスが大切なんです。作業は大変ですが、多くの皆様にやすらぎのひとときをお届けできると思うと、一生懸命頑張れます」

こだわり

香和の酵素温浴を「一人桶」タイプにしたのは、河田さんのこだわりがありました。酵素温浴は定期的に何度か入ることで、体質改善や冷え解消につながり、完全予約制の女性専用サロンの店内で、一人一つの桶に入ることは、よりプライベートな空間としてリラックスできるのです。「また来たい、と思っていただけサロングリを何より大切に心掛けています。お客様の体調改善の為に、手間や努力を惜しむことはありません」

コロナ禍

世の中が自粛ムード一色となった新型コロナウイルス感染症の影響は、香和にも例外なく降りかかり、全く予約が入らない日も続きました。そのなかで、河田さんは「今は耐えるとき」と思い、いつ予約が入ってもいいように、酵素風呂の調整だけは欠かさず続けました。すると、幸いにもほどなくして常連のお客様からの予約が徐々に増え